

Title	北朝鮮問題における日米韓協力の形成と展開
Sub Title	Formation and development of Japan-U.S.-ROK trilateral cooperation on North Korean issues
Author	西野, 純也(Nishino, Junya)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2024
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2023.)
JaLC DOI	
Abstract	本研究では、1990年代後半から現在に至るまでの対北朝鮮政策における日米韓連携と協力の軌跡を検証する作業を行っている。2023年度は、おもに次の2つについて研究を進めた。第1に、日米韓協力の成否を握る日韓関係について、韓国新政権発足後の関係改善の動きを中心に考察した。第2に、2022年から再活性化し、2023年8月のキャンプ・デービッド首脳会談によりアップグレードした日米韓3カ国の安全保障協力に関する分析を行った。 2023年度成果の一部として、次のような論考を発表した。「尹大統領訪日と日韓一関係改善が進めば『インド太平洋』の国際環境にも影響」nippon.com、2023年4月24日、「『グローバル中軸国家』へ進む韓国と『日米韓協力』の行方を決める『3要素』」フォーサイト、2023年5月9日、「『日韓首脳シャトル外交』復活で進む合意の実現と関係改善」フォーサイト、2023年5月17日、「自由と民主主義、国際連携を重視する尹政権外交」東洋経済オンライン、2023年6月12日、「日韓世論から見える関係改善の課題」NPIクォーターリー、2023年7月10日、「日米韓キャンプ・デービッド首脳会談の成果と今後の課題」NPIクォーターリー、2023年10月10日、「高まる南北朝鮮『軍事的衝突リスク』にどう備えるか」フォーサイト、2024年2月29日。 This study examines the trajectory of Japan-U.S.-ROK coordination and cooperation in North Korea policy from the late 1990s to the present. The research in 2023 was conducted mainly on the following two areas. First, I examined Japan-ROK bilateral relations, which hold the key to the success of trilateral cooperation, focusing on the movement to improve ties between the two countries after the inauguration of the new South Korean administration. Second, I analyzed the trilateral security cooperation among Japan, U.S., and ROK, which has been reactivated since 2022 and upgraded after the trilateral Camp David summit meeting in August 2023.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2023000010-20230067

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2023年度 学事振興資金（個人研究） 研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300千円 (A)
	氏名	西野 純也	氏名（英語）	NISHINO Junya		
研究課題（日本語）						
北朝鮮問題における日米韓協力の形成と展開						
研究課題（英訳）						
Formation and Development of Japan-U.S.-ROK Trilateral Cooperation on North Korean Issues						
1. 研究成果実績の概要						
本研究では、1990 年代後半から現在に至るまでの対北朝鮮政策における日米韓連携と協力の軌跡を検証する作業を行っている。2023 年度は、おもに次の2 つについて研究を進めた。第1 に、日米韓協力の成否を握る日韓関係について、韓国新政権発足後の関係改善の動きを中心に考察した。第2に、2022 年から再活性化し、2023年8月のキャンプ・デービッド首脳会談によりアップグレードした日米韓3 カ国の安全保障協力に関する分析を行った。 2023年度成果の一部として、次のような論考を発表した。「尹大統領訪日と日韓一関係改善が進めば『インド太平洋』の国際環境にも影響」nippon.com、2023年4月24日、「『グローバル中軸国家』へ進む韓国と『日米韓協力』の行方を決める『3要素』」フォーサイト、2023年5月9日、「『日韓首脳シャトル外交』復活で進む合意の実現と関係改善」フォーサイト、2023年5月17日、「自由と民主主義、国際連携を重視する尹政権外交」東洋経済オンライン、2023年6月12日、「日韓世論から見える関係改善の課題」NPIクォーターリー、2023年7月10日、「日米韓キャンプ・デービッド首脳会談の成果と今後の課題」NPIクォーターリー、2023年10月10日、「高まる南北朝鮮『軍事的衝突リスク』にどう備えるか」フォーサイト、2024年2月29日。						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
This study examines the trajectory of Japan-U.S.-ROK coordination and cooperation in North Korea policy from the late 1990s to the present. The research in 2023 was conducted mainly on the following two areas. First, I examined Japan-ROK bilateral relations, which hold the key to the success of trilateral cooperation, focusing on the movement to improve ties between the two countries after the inauguration of the new South Korean administration. Second, I analyzed the trilateral security cooperation among Japan, U.S., and ROK, which has been reactivated since 2022 and upgraded after the trilateral Camp David summit meeting in August 2023.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者 氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)				学術誌 発行年月 (著書 発行年月・講演 年月)
西野純也	尹大統領訪日と日韓：関係改善が進めば「インド太平洋」の国際環境にも影響	nippon.com(https://www.nippon.com/ja/in-depth/d00901/)				2023 年4 月24日
西野純也	「グローバル中軸国家」へ進む韓国と「日米韓協力」の行方を決める「3要素」	フォーサイト(https://www.fsight.jp/articles/-/49756)				2023 年5月9 日

西野純也	「日韓首脳シャトル外交」復活で進む合意の実現と関係改善	フォーサイト(https://www.fsight.jp/articles/-/49775)	2023年5月17日
西野純也	自由と民主主義、国際連携を重視する尹政権外交	東洋経済オンライン(https://toyokeizai.net/articles/-/678279)	2023年6月12日
西野純也	日韓世論から見える関係改善の課題	NPIクォーターリー(https://npi.or.jp/publications/2023/08/18141132.html)	2023年7月10日
西野純也	日米韓キャンプ・デービッド首脳会談の成果と今後の課題	NPIクォーターリー(https://npi.or.jp/publications/2023/11/15144556.html)	2023年10月10日
西野純也	高まる南北朝鮮「軍事的衝突リスク」にどう備えるか	フォーサイト(https://www.fsight.jp/articles/-/50455)	2024年2月29日